

ロシア・バレエ鑑賞の楽しみ方



(株)ロシア旅行社

2013年12月作成
担当: 中出

現状とこれからのバレエの方向性

ロシアといえばバレエ。ロシアのモスクワとサンクトペテルブルクでは最高のクラシックバレエを見ることが出来ます。

ペテルブルグにはワガノワバレエ学校、モスクワにはボリショイバレエ学校という伝統ある舞踊学校があり、優秀な卒業生はそれぞれマリンスキー劇場またはボリショイ劇場に迎え入れられます。コールドバレエ(群舞)のレベルの高さはこのような伝統の中で生まれます。

劇場も才能あるダンサーの発掘には熱心です。ボリショイ劇場の芸術監督フィーリンとコンドラチェワがワガノワ・バレエ学校の卒業公演でオリガ・スミルノフを見初めて、2011年卒業と同時にファースト・ソリストとして迎えています。今後の活躍が期待される踊り手です。

入団したバレエダンサーは技術的には相当のレベルにあり、その中で秀でた者たちが、ファースト・ソロイスト、リーディング・ソロイスト、プリンシパルへと昇格していきます。また、引退したダンサーは教師となり、若手舞踊家を指導します。

2011年にプリンシパル・ダンサーとなったニーナ・カプツォワはニーナ・セミゾーロワから、エカチェリーナ・シプリーナはマリーナ・コンドラチェワから、エカチェリーナ・クスイサーロワはスヴェトラナ・アデイルハーノワから指導を受けるなどして、このようにしてボリショイ劇場の伝統が引きつがれます。

ボリショイ劇場では同じ演目は何日も続くことがあります。演目が同じでも配役が異なります。それぞれ個性的な解釈で踊りますので、注意してみてください。素晴らしい解釈と思われましたら惜しみなく拍手を送りましょう。

ボリショイ劇場のレパートリーは主にミンクスのドン・キホーテ、チャイコフスキーの3大バレエを中心としたクラシック・バレエですが、最近では海外の劇場との交流もさかんに行われ、マッツ・エックを招聘したり、コンテンポラリーにも力を入れるようになりました。またプリンシパル・ダンサーに初めてアメリカ人のデービッド・ホルバークを迎え入れ、スヴェトラナ・ザハーロワは客演でミラノ・スカラ座のプリンシパル・ダンサーとしても活躍するなど交流を深めています。

マリンスキー劇場についても同様に古典バレエに固執するのではなく、バランシン、フォーサイス、クランコ、ドゥアトらの作品を積極的に取り上げコンテンポラリーにも力をつけ両劇場とも総合的に実力をつけつつあります。ぜひこの機会に本場のバレエを見に行きましょう。

バレエの見所

ロシア・バレエの主な出し物は「白鳥の湖」、「眠りの森の美女」、「クシミ割り人形」、「ドン・キホーテ」などクラシック・バレエの作品が多く、これらの作品はグラン・パド・ドウ形式をとっており、それが1番の見どころとなります。

グラン・パド・ドウ形式は通常、(序奏)、アダージョ(男・女二人で踊る抒情的な踊り)、第1ヴァリエーション(男性舞踊手の踊り)、第2ヴァリエーション(女性舞踊手の踊り)、コーダ(男女二人で踊る華やかな踊り)の4(5)つの部分に分かれます。

それぞれのヴァリエーションでは素晴らしい技巧が見られ、コーダが頂点となり、コーダが終わると喝采があります。あちこちで「ブラーヴォ」という声が聞こえますので、お客様も素晴らしいとおもわれましたら、恥ずかしがらずに叫びましょう。

「白鳥の湖」、「ドン・キホーテ」でのコーダでは有名なグラン・フェット・アン・トールナンという片足で32回回転するフェットがあります。最近の舞踊手ではダブル・フェット、トリプル・フェットという本来1回転するところを2回転したり3回転する踊り手がありますので、そのような場合は32回以上になります。本当に上手な人は軸足をずらさず、1枚の切手のスペースで踊るとのことです。そのような踊り手を見ることができれば涙を流して「ブラーヴォ」をさげびまくりましょう。

男性舞踊手は、ジュテ(跳躍)を注意してみてください。高い跳躍、着地時にドシンドシンと音のしないところがロシアのバレエ・ダンサーの特徴です。

パド・ドウの他に白鳥の湖、クシミ割り人形などには、スペインの踊りのような性格的な踊りを集めた楽しいディヴェルティスマンがあります。

パド・ドウは二人の踊りですが、パド・トロワは3人、パド・カトルは4人、パド・シスは6人の踊りとなり、それぞれ独舞(ヴァリエーション)があり、最後は華やかなコーダで締めくくられます。最後は喝采を送りましょう。

群舞でも、すばらしいコールド・バレエが見られるのは「ジゼル」の第2幕妖精たちが群舞で交差する場面やバヤデルカの「影の王国」の精霊たちの踊りです。必ず盛大な拍手がありますので見逃さないようにしましょう。

チャイコフスキー三大バレエのあらすじと見所

※拍手、ブラーヴォの場所をご案内、

チャイコフスキー作曲 バレエ「眠れる森の美女」

振付・演出：マリウス・プティパ

主な登場人物

オーロラ姫 デジレ(デザイア=希望)王子、王(フロロスタン14世)と王妃、
リラの精と他の6人の妖精達、 邪悪の精カラボス、 シャルル・ペローの童話の登場人物達

(音楽)

プロローグ「オーロラ姫の洗礼」

第1曲 a) 序奏

邪悪なカラボスの主題で始まり、後半は優美なリラの精の主題に移ります。

b) 行進曲

今日は、オーロラ姫が生まれたので洗礼式が行われます。

第2曲 a) 妖精達の入場

招待された妖精達が登場します。

b) 踊りの情景

第3曲 パ・ド・シス 6人の踊り

招待された6人の妖精達が踊ります。オーロラ姫にいろいろな気質を授けます。

a) 序奏

b) 第1ヴァーリアシオン - 夾竹桃(優しさ)の精

c) 第2ヴァーリアシオン - 三色ヒルガオ(元気)の精

d) 第3ヴァーリアシオン - パンくず(鷹揚)の精

e) 第4ヴァーリアシオン - カナリアの精

f) 第5ヴァーリアシオン - 激しさ(勇気)の精

g) 第6ヴァーリアシオン - リラの精

h) コーダ 全員による踊り

第4曲 終曲

a) カラボスの入場

リラの精が授けものをしないうちに邪悪なカラボスが現れます。

b) カラボスのマイム

カラボスは招待されなかつたことを怒っています。

そのためにオーロラ姫に16歳になったら、紡ぎ針で死ぬという呪いをかけます。

c) リラの精のマイム

リラの精が現れ、自分の授けものとして、オーロラ姫は死ぬのではなく

100年の眠りにつき、王子の口付けにより目覚めるという魔法をかけます。

第1幕「オーロラ姫と4人の求婚者達」

第5曲 a) 序奏

16年の時がたちました。

b) 編み物をする女たちの情景

編み物をする女たちが踊っています。紡ぎ針をもっていると厳しい罰がありますよと警告されます。

第6曲 ワルツ

単独で演奏されることの多い有名なワルツです。村人たちが踊ります。

第7曲 オーロラ姫の入場

オーロラ姫が登場します。(拍手で登場)この辺りからパ・ダクションまでの音楽がとても美しいです。

第8曲 パ・ダクション

a) バラのアダージョ

冒頭ハーブの美しいカデンツァで始まる美しい音楽。

b) 女官と小姓達の踊り

c) オーロラ姫のヴァーリアシオン

オーロラ姫の独舞、見所です。終わったら拍手、良かったらブラーヴォと叫びましょう

第9曲 終曲

a) 紡ぎ針をもったオーロラ姫のおどり

オーロラ姫は村人にばけたカラボスから紡ぎ針を受けて踊ります。

b) 呪文

オーロラ姫に紡ぎ針が刺さり、倒れてしまい、カラボスは正体を現します。

c) リラの精の到着

リラの精があらわれ、皆が100年の眠りにつく魔法をかけて、幕となります。

第2幕第1場「デジレ王子の狩」(幻影)

1幕から100年をたったころ、デジレ王子が森で狩をしています。王子が登場したら拍手で迎えます。

第10曲 a) 間奏曲

b) 王子の狩の情景

第11曲 目隠し鬼ごっこ

第12曲 貴婦人たちのおどり

a) 情景

b) 公爵夫人の踊り

c) 男爵夫人の踊り

d) 伯爵夫人の踊り

e) 侯爵夫人の踊り

第13曲 コーダ、ファランドール

第14曲 a) 情景と狩人たちの出発

b) リラの精の入場

第15曲 パ・ダクション

幻影の場面で音楽がとても美しい場面です。

デジレ王子はリラの精が見せる幻影のオーロラ姫と踊ります。

a) オーロラ姫の幻の入場

b) 甘美なアダージョ

c) オーロラ姫のヴァーリアシオン ※この踊りがすばらしければブラーヴォを送ります。

d) コーダ ここで拍手します。

第16曲 情景

第17曲 パノラマ

王子はリラの精に導かれてオーロラ姫の眠る森へ出発します。

第18曲 交響的間奏曲

いばらの道を切り広げて眠りの森の城へ。

第19曲 眠りの城の情景

第20曲 情景と終曲 - オーロラ姫の目覚め

眠っているオーロラ姫に接吻して、オーロラ姫は目覚めます。

同時に城内の人たちも目覚めます。



第3幕「デジレ王子とオーロラ姫の結婚式」

結婚式、シャルル・ペローの書いた童話の登場人物達が招待されています。

この幕のみ「オーロラ姫の結婚」として舞台に取り上げられることがあります。

第21曲 行進曲

第22曲 ポロネーズ

第23曲 パ・ドゥ・カトル (4人の踊り、宝石の精達の踊り)

a) 序奏

b) 金の精のヴァーリアシオン

c) 銀の精のヴァーリアシオン

d) サファイアの精のヴァーリアシオン

e) ダイヤモンドの精のヴァーリアシオン

f) コーダ

第24曲 パ・ドゥ・キャラクター - 長靴をはいた猫と白い猫の踊り

第25曲 パ・ドゥ・カトル (4人の踊り)

a) 序奏

b) シンデレラ姫とフォーチュン王子のパ・ドゥ・ドウ

c) 青い鳥とフロリーネ姫のパ・ドゥ・ドウ

青い鳥の踊りはグラン・パ・ドゥ・ドウとならんで見所になります。

d) コーダ 拍手を送りましょう

第26曲 パ・ドゥ・キャラクター - 赤ずきんと狼の踊り

第27曲 親指小僧と人食い鬼の踊り

第28曲 グラン・パ・ドゥ・ドウ、全幕で一番の見せ場になります。

a) 序奏

b) アダージョ

c) デジレ王子のヴァーリアシオン

d) オーロラ姫のヴァーリアシオン (美しいヴァイオリン・ソロがあります)

e) コーダ ここは盛大な拍手を送ります。

第29曲 サラバンド

第30曲 a) 全員によるコーダ

b) アポテオーズ (アンリ4世を讃える頌歌-フランス王国の国歌です)

チャイコフスキー作曲 バレエ「白鳥の湖」 作品20

1877年3月4日にモスクワのボリショイ劇場バレエ団により、ヴェンツェル・ライジンガーの振り付けで初演。結果は、失敗でした。チャイコフスキーの死後、1895年1月15日 サンクトペテルブルクでマリインスキー劇場バレエ団により、マリウス・プティパ及びレフ・イワノフの振り付けで蘇演、オデット・オディールはレニャーニが踊りました。これによりこの作品の真価が認められました。

演奏時間 全曲で約2時間半

この作品は、ドイツの作家ムゼウスの童話「奪われたペール」を元に作られた作品。舞台はドイツ。音楽は全29曲からなります。

主要な登場人物

王妃、ジークフリート王子、ウオルフガング(家庭教師)、ベンノ(友人)、道化、オデット(白鳥の女王)

ロットバルト(通常はふくろうの姿をした悪魔)

オディール(ロットバルトの娘、第3幕でオデットに姿を似せて変身する、バレエではオデットとオディールは1人2役で踊る)

音楽

第1幕(王宮の庭)

第1曲:セーヌ(情景)

第2曲:ワルツ

第3曲:セーヌ(情景) 王妃の登場。成人になる王子に舞踏会で花嫁を選ぶようにといます。

第4曲:パ・ドゥ・トロワ(3人の踊り、王子の友人ベンノの力強い踊りが見られます。)

(第5曲:パ・ドゥ・ドゥー(現在は第3幕のパ・ドゥ・ドゥーに使用されることが多い)

第6曲:パ・ダクシオン 道化の難度の高い踊りが見られます。

第7曲:シェジュ(杯の踊りへの前奏、数小節の短い曲)

第8曲:杯の踊り

第9曲:フィナーレ(王子は湖へ狩に。)

第2幕(湖のほとり)

第10曲:セーヌ(情景) 全曲中、最も知られている音楽です。

第11曲:セーヌ(情景) (オデットの登場、拍手で迎えます、オデットが王子にロットバルトに呪いをかけられ、永遠の愛のみが彼女たちを救えることなどを物語ります)

第12曲:セーヌ(情景) (白鳥達が登場します)

第13曲:白鳥たちの踊り

・最も重要なのはグラン・アダージョ(音楽:アンダンテ・ノン・トロppo)いわゆる王子と白鳥のパ・ドゥ・ドゥ。冒頭の部分には美しいハーブのカデンツァ(独奏)があります。続くヴァイオリンとチェロのメロディは甘美。全曲中最も美しく叙情的部分です。

・4羽の小さな白鳥の踊り(パ・ドゥ・カトル)、

・3羽の大きな白鳥の踊り、(4羽で踊られることもあります)

・白鳥の女王の踊り(パ・スール、拍手

・コーダ

第14曲:セーヌ(情景) (第2幕の最終曲で第10曲と全く同じ音楽)

第3幕(王宮の舞踏会)

第15曲:セーヌ(情景) アレグロ・ジストで軽快に始まります。

第16曲:コール・ドゥ・バレエとこびとの踊り(道化の踊り、アクロバティックな踊りがあります)

第17曲:セーヌ(ファンファーレによる賓客たちの登場とワルツ)

第18曲:セーヌ(情景)

第19曲:パ・ドゥ・シス(現在、パ・ドゥ・シス 6人の踊りとして踊られることはほとんどありません。削除されるか第5曲と同じように、この曲から黒鳥のパ・ドゥ・ドゥの音楽に転用されることが多い。)

(追加パ・ドゥ・ドゥー、新たに発見されたパ・ドゥ・ドゥと言われる曲で一部が黒鳥のパ・ドゥ・ドゥに転用されることがあります。)

第20曲:ハンガリー舞曲(チャールダッシュ) 前半の緩やかなラッサンと後半の軽快なフリスカからなります。

(追加ロシア舞曲 ほとんど削除されますが劇場によっては踊られることがあります。)

第21曲:スペイン舞曲

第22曲:ナポリ舞曲(コルネットの活躍する音楽)

第23曲:マズルカ(ポーランドの踊り)

◎黒鳥のパ・ドゥ・ドゥ: 各国の踊りのあとに黒鳥のパ・ドゥ・ドゥがあります。黒鳥はロットバルトの娘オディールがオデットに化けています。そのため、オディールはオデット役の踊り手が一人二役で踊ります。音楽は原譜第5曲、第19曲、新たに発見されたパ・ドゥ・ドゥから使用されています。コーダでは片足で掃くようにして踊る32回のグラン・フェッテ・アントール・ナンという見せ場があります。舞踊手によっては、ダブル・フェッテ、トリプルフェッテを入れることもあます。



第24曲:セーヌ(情景) 王子は黒鳥オデールをオデットと思い込み永遠の愛を誓ってしまいます。窓の外で悲嘆にくれるオデット、悪魔ロットバルトはオデールと共に王子をあざ笑い立ち去ります。王子は湖へ。そして幕となります。

第4幕(湖のほとり)

第25曲:間奏曲

第26曲:セーヌ(情景) 悲嘆にくれたオデットが湖に戻ってきます。

第27曲:小さな白鳥たちの踊り(黒い白鳥がときどきいますがこれは子供の白鳥です。)

第28曲:セーヌ(情景) 王子が湖に現れます。

第29曲:フィナーレのセーヌ(情景) 王子とロットバルトとの戦い。本来、王子とオデットは死んで昇天して結ばれるという悲劇的結末、演出によってはハッピー・エンドの物がありますが、音楽は悲劇的結末のために作られています。

チャイコフスキー作曲 バレエ「くるみ割り人形」作品71

毎年、モスクワのポリショイ劇場で大晦日に取り上げられるバレエ作品。

原作はE.T.A.ホフマンの童話「くるみ割り人形とねずみの王様」

台本はマリウス・プティパ、振付がレフ・イワノフによって1892年12月17日にサンクトペテルブルグのマリンスキー劇場で行われました。

音楽は全曲で約1時間半、全2幕で比較的コンパクトな作品。

音楽

小序曲

第1幕

第1場

第1曲:クリスマス・ツリー (お客様がクララ(ロシアではマリー)の家へ)

第2曲:行進曲

第3曲:子供たちのギャロップと新しいお客の登場

第4曲:踊りと情景(ドロツセルマイヤーの贈り物)(ドロツセルマイヤーの人形たちの踊り)

第5曲:情景とグロスファーターの踊り、(老夫婦の踊り)

クララの兄フィリップがくるみ割り人形をこわしてしまいます。

第6曲:情景(クララとくるみ割り人形)

夜12時を時計が打つと魔法が始まる。クリスマスツリーがどんどん大きくなります。

くるみ割り人形が王子になる。

第7曲:情景(くるみ割り人形とねずみの王様)戦いが始まり、くるみ割り人形は苦戦しますが、クララがねずみの王様にスリッパを投げつけねずみ達は退散します。人形は王子に変身し、お礼にクララをお菓子の国へ出発。

第2場

第8曲:情景(冬の松林で)

第9曲:雪のワルツ 舞台裏で合唱があります。クララと王子はお菓子の国へ。

第2幕

第10曲:情景(砂糖の山の魔法の城)

第11曲:情景(クララと王子)

第12曲:ディヴェルティスマン

a.チョコレート(スペインの踊り)

b.コーヒー(アラビアの踊り)

c.お茶(中国の踊り)

d.トレパーク(ロシアの踊り)

e.あし笛の踊り(フランスの踊り)

マリンスキー劇場(ワイノーネン)版では子供が踊ります

ワガノワバレエ学校の生徒が踊ります。

f.ジゴニーニュお婆さんとピエロ(舞台では通常省略)

第13曲:花のワルツ

第14曲:パ・ド・ドウ、全曲で一番の見せ場になります。

a.序奏

b.ヴァリアシオン I (タランテラ) 王子の踊り

c.ヴァリアシオン II (こんぺい糖の精の踊り)

d.コーダ ここが一番の見せ場となります。拍手

第15曲:終りのワルツと大詰め 夢の終わり



ロシア・旧ソ連圏の主な劇場一覧

モスクワ

○ボリショイ劇場

Bolshoy theater

Address: Teatrnaya (Theatre) square, 4/2

Ticket office: tel. +7 (495) 455-5555 sales@bolshoi.ru

○モスクワ音楽劇場(ダンチェンコ劇場)

Moscow Academic music theater named after Stanislavski and Nemirovich-Danchenko

Address: Bolshaya Dmitrovka street, 17

Booking office +7 (495) 650-23-93

○ノーヴァヤ・オペラ

Moscow theatre "New Opera"

Address: st. Karetny Ryad (Hermitage Garden), 3

TEL: +7 495 694-08-68

サンクトペテルブルグ

○マリインスキー劇場

Mariinsky (Kirov) Ballet and Opera

Address: Teatrnaya (Theatre) square, 1

TEL:+7 812 326-41-41

○ミハイロフスキー劇場

Mikhailovsky Classical Ballet and Opera Theatre

Address: Iskustv square, 1

TEL:+7 (812) 595-43-05

○エルミターージュ劇場

Hermitage Theatre of Classical Russian Ballet

Address: Dvortsovaya Embankment, 34

TEL; (812) 710-90-79

ペルミ

○チャイコフスキー記念ペルミ国立劇場

Perm Academy Theater named after Tchaikovsky

Address: Ulitsa Petropavlovskaya, d. 25a, Perm

TEL:+7 342 212-30-87

ノボシビルスク

○ノボシビルスク国立劇場

Novosibirsk Academy Theater

Krasnyy prospekt, 36, Novosibirsk, Novosibirsk Oblast

TEL:+7 383 227-15-37

ウラジオストク

○プリモルスク・オペラ・バレエ劇場

Primorsk Theater

Fastovskaya ul. Vladivostok

TEL:7 (984) 140-5185

ベラルーシ・ミンスク

○ベラルーシ共和国ボリショイ劇場

Belorus Bolshoy theater

Address: 1 Pl. Parizhskoy Kommyny , Minsk

Tel:+375 (17) 334 10 41

ウクライナ・キエフ

○シェフチェンコ記念キエフ国立オペラ劇場

Ukraina Kiev National Opera Theater

Address: ul.Vladimirskaya 50

TEL: 234 71 65